



R7
F

WORLD HAIR 2022
Spring/Summer



ワールドヘア in Japan 2022SS (春夏)

1 ネーミング (名称)

Re-Fu (リフ)

「Re-Fu」とは、未来を映し出す (Reflect the Future) の略語。

自由が制限される時代の中で、多彩な創意工夫と進むデジタル化による「ニューノーマル」な生活スタイルに合わせたヘアスタイル。

2 ターゲット (対象)

10～20代を中心とした、自分らしい多彩な発想と快適性を楽しむ人たち。

3 コンセプト (提案の趣旨)

理想と現実の中に自分らしさを追求し、生活の中で快適性を重視したヘアデザインを提案。

キーワードとなる『コントラスト』はメリハリを活かしダイバシティもクローズアップ。

若年層の理容店離れが進む中、従来理容師が持つ技術や知識の着眼点を変える事で、若者の心を動かすようなヘアスタイルを提案。また、理容店を利用したことがない若年層へのアプローチとともに、理容師を志す若者を増やすことも狙い。

4 ヘアスタイルの特徴

- ① 今季のトレンドポジションである「アクティブ」「マニッシュ」をテーマとした作品。
- ② 快適性のあるフェードスタイルに、躍動感のあるフロントをミックス。
- ③ フォームは、日本人がもっとも似合うダイヤモンドライン。
- ④ ストレートスタイルとパーマスタイルで2つのデザイン&テクスチャーを提案。
- ⑤ 自分らしさを表現できる多彩なアレンジやバリエーションを可能にするパーマとカラー。











1
ブロッキングを行います。
丁寧で正確なブロッキングは、カット工程、またフォルムづくりには欠かせない技術のひとつです。



2
耳後部から直上にサイドラインをとり、続いてセンターと耳後部の1/2の点から床並行ラインでトップエリアをブロッキングします。



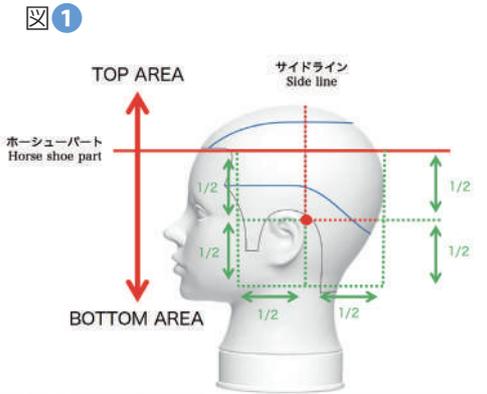
3
逆サイドも耳後部から直上にサイドラインをとり、続いてセンターと耳後部の1/2の点から床並行ラインでトップエリアをブロッキングします。



4
クラウンも同様に、左右のセンターと耳後部の1/2の点を床並行ラインで結び、トップエリアをブロッキングします。



5
トップ、フロント、クラウンをエリアごとにHSP（ホーシューパート）上でブロッキングした状態です。



刈り上げ *Fade*



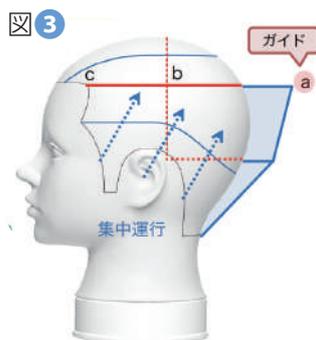
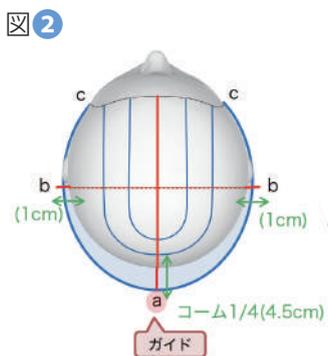
1
HSP上のバックセンター(a)に約4.5cmのガイドをつくり、サイド(b)が約1cmなるように刈り上げのガイドラインを設定します。(図2)



2
サイドは、HSPに設定したガイドラインに沿って前方から後方に集中運行にて刈り上げます。裾周りはクリッパーを使用。(図3)



3
バックも同様に、HSPに設定したガイドラインに向かって放射状にえぐる様に刈り上げます。裾周りはクリッパーを使用。(図4)





クラウンは、HSP上の(a)4.5cmをガイドにセンターにガイドラインをつくります。(図5)



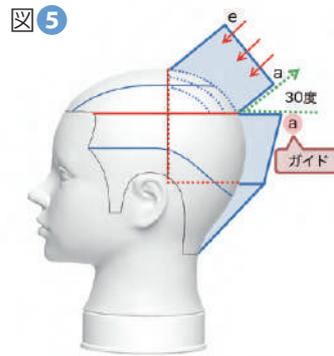
センターに縦スライスを取り、(a)をガイドに30度アップシステムの角度に引き出してポイントカットします。(図5)



センターでカットしたガイドに合わせて、順次スライスを平行移動させてスクエアに引き出しポイントカットしていきます。(図6)



スクエアに引き出してカットすることによりセンターはつながり、サイド側はツーブロックになります。



サイドラインから1/2 (f)の箇所をフロントをブロック。クラウンでカットした(e)の長さをガイドにセンターをスクエアにポイントカットします。



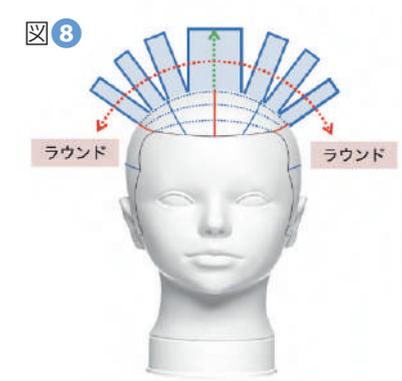
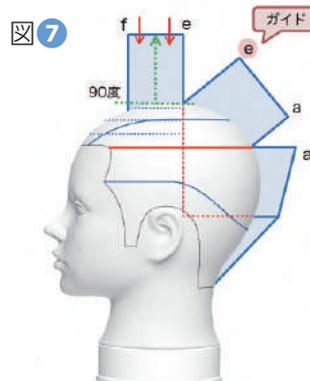
センターとバックをガイドにセンターサイドをラウンドにポイントカットします。



逆サイドも同様にセンターとバックをガイドにセンターサイドをラウンドにポイントカットします。



頭の丸みに合わせるため、センターサイドはラウンドにポイントカットしていく。(図8)





フロントは、トップでカットしたガイドライン(f)に合わせてダイレクションしながらポイントカットします。(図9)



フロントは3パネルに分けて、ダイレクション ((f) に集める) しながらポイントカットしていく。(図9)



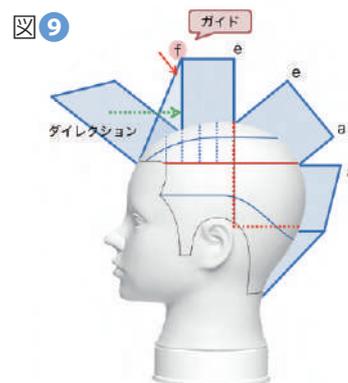
センターサイドも同様に、ガイドライン(f)に集めてスクエアにダイレクションカットします。



逆サイドも同様に、ガイドライン(f)に集めてスクエアにダイレクションカットします。



ダイレクションすることにより、前に行くほど長くなっていることがわかります。(図9)



前髪 *Bangs*



前髪を骨格に合わせダウンシェープし、端が長くなるようにスクエア状にポイントカットします。



前髪の右サイドもダウンシェープした状態でスクエアにポイントカットしてセンターにつなげていきます。



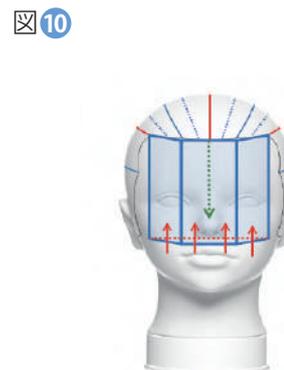
前髪の左サイドもダウンシェープした状態でスクエアにポイントカットしてセンターにつなげていきます。



スクエア状にカットすることで、流した時に端が短くなることを防ぐことができます。(図10)



サイドから見た状態です。スクエア状にカットすることで、流した時に端が短くならずフィットします。





25%程度梳けるセニングシザーズを使用して、トップを毛量調整していきます。質感を入れるので梳きすぎない様にしましょう。



元1/3から毛先に向けて毛量調整をします。毛量の少ない人は毛先を中心に行ってください。(図11)



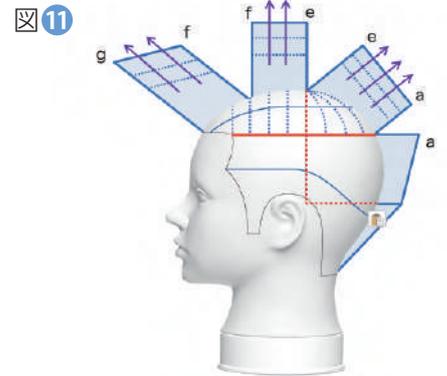
センターサイドも同様に、元1/3から毛先に向けて毛量調整します。ラウンドのカットラインに合わせて毛量調整します。



クラウンも同様に縦スライスを取り、元1/3から毛先に向けてカットラインに合わせて毛量調整します。



比較的長さの短いボトムエリアとのジョイント部分は、すくい刈りで毛量調整します。



質感調整はドライカットにて行います。トップはポイントカットで空間をあけ、毛束感をつくります。(図12)



質感を入れる際は、ダイレクションはせずに、オンザベースでポイントカットを行います。(図12)



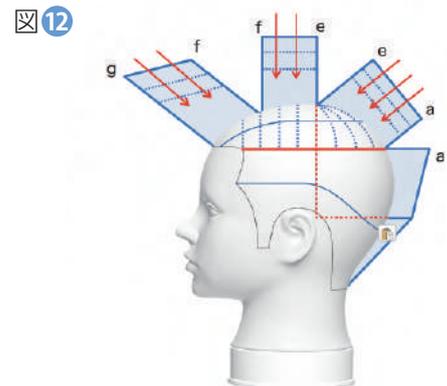
センターサイドも同様に、オンザベースでポイントカットを行い毛束感をつくります。



クラウンの部分もカットラインに合わせて縦スライスを取り、ポイントカットして毛束感をつくっていきます。



バックのジョイント部分も同様にポイントカットで毛束感をつくります。





1 パーマプロセスの時間短縮とストレス軽減のために泡タイプの1剤を使用します。ブロックごとに塗布をし、軽くなじませておきます。



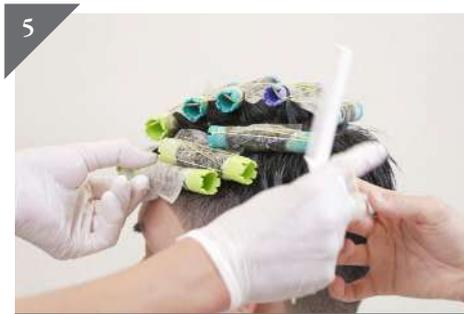
2 ステムはオンザベースで、質感調整しているためロングペーパーの帯を利用して巻きます。ロッドは13ミリ～17ミリを使用します。



3 前髪は今っぽいバングの動きをつくるため、ダウンシステムでリバース方向に逆巻きします。テンションを上げ過ぎないように巻きます。



4 1剤を再塗布しながらサイド及びバックサイドをセンターと同様に巻いていきます。毛束の長さや仕上がりをイメージして巻きましょう。



5 前髪をダウンシステムでペーパーを毛束の下に当ててリバース方向に逆巻きします。不必要な根元の立ち上りを防ぎ毛先の自由な動きを表現します。



6 クラウンをリバース方向に巻き、逆サイドも同様に巻きます。必要に応じて1剤をリングコームでロッドの上に追い塗布をします。



正面



右サイド



バック



左サイド



Image

Re-Fu
イメージ動画



<https://youtu.be/kHF5XBBdb8Q>

Cut

Re-Fu
カットプロセス動画



<https://youtu.be/vu1OrrzI47M>

Perm

Re-Fu
パーマプロセス動画



<https://youtu.be/8Ll0lgNK1C0>

1 簡単なQRコードの読み取り方

最近のスマートフォンやタブレットでは、カメラをQRコードにかざすだけで自動的に読み取れます。

2 アプリをダウンロード

カメラで読み取れないときは、QRコードを読み取るアプリをインストールしましょう。機種に応じてPlayストアまたはAppストアにて「QRコードリーダー」と入力し検索→候補の中から好みのアプリを選んでください。

3 QRコードを読み取る

QRコードを読み取る時、レンズのピントは寄せたり引いたりして調整し、しっかり合わせてください。